



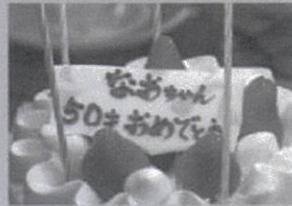
“いのち”の想い

姉が、私にとっては姪っ子の、重くてかんと知的障がいと併せ持つ長女、奈緒ちゃんが「長くは生きられない」と告げたのは、もう40年以上前のこと。その一言をキッカケに撮影をはじめ、12年後の1995年に映画は『奈緒ちゃん』として完成、私の自主製作・自主上映の映画創りののはじまりでした。

そして、奈緒ちゃんは元気に50歳を迎えました。記録というよりも“記憶”・・・50年間におよぶ「いのち」の記憶。

奈緒ちゃんの生きようとする力、「いのち」の想いのよななものに、耳を澄ませてほしい・・・

かんとく・伊勢真一



“奈緒ちゃんシリーズ”の歩み

第1弾 1995年 奈緒ちゃん 9~20歳 | 第2弾 2002年 奈緒ちゃん 20代 | 第3弾 2006年 奈緒ちゃん ~30歳 | 第4弾 2017年 奈緒ちゃん ~44歳 | 第5弾 2024年 奈緒ちゃん ~50歳!



てんかんと知的障がいを持つ奈緒ちゃんの、9歳から成人式までの12年間を追ったヒューマンドキュメンタリー。伊勢真一監督の長編デビュー作。(98分)

●毎日映画コンクール記録映画賞グランプリ
●キネマ旬報文化映画ベストテン2位 他



奈緒ちゃんのお母さんと仲間たちは、地域作業所「びぐれっと」を立ち上げ、ハンディキャップを持つ人々やその家族を支える場へと成長していく。(98分)

●キネマ旬報文化映画ベストテン8位



奈緒ちゃんは30歳を越える年になり、家族はグループホームへの自立を考え始める。奈緒ちゃん一家それぞれの、自立と成長の物語。(105分)

●フランスFIPA映画祭招待作品
●キネマ旬報文化映画ベストテン5位



奈緒ちゃんと家族の日々を見つめ続けた35年の記録。「奈緒ちゃんが生まれたから、生きたから、たくさんのいのちが生きた。」奈緒ちゃんは44歳、元気です! (110分)

●キネマ旬報文化映画ベストテン3位
●DMZ韓国国際ドキュメンタリー映画祭審査員特別賞 他



「長くは生きられない・・・」と医者に言われた障がいのある姪っ子・奈緒ちゃんが50歳になりました。撮影を始めてから42年、撮り続けた奈緒ちゃんと家族の日々の、記録というよりも“記憶”・・・。「大好き」は50年におよぶ「いのち」の記憶です。(110分)

出演：西村奈緒 西村信子 西村大葉 西村記一 プーチン 奈緒ちゃんとお母さんの仲間たち/撮影：世良隆浩 伊勢朋矢 瀬川順一 石倉隆二/ 音声・効果：永澤康弘/編集：尾尻弘一/音楽：ロケット・マツ 知久寿焼 (Pascals)/テーマ曲：「326」作曲 ロケット・マツ/音楽録音・MIX：水谷勇起 題字：堀谷亮太/宣伝アート：遠藤郁美/デザイン：森岡寛真 田村誠司/上映デスク：増馬則子 大竹理希子 相原余至子 西村信子/「奈緒ちゃんシリーズ」スタッフ：木村勝英/熱海編一 米山靖 渡邊文彦/協力：野口香織 若永正敏 守内尚子 高内優 大場健二 篠塚昌述 前田祥文 助川満 東志洋 大根秀子 水野裕子 伊勢佳世 高山千弘 加藤慶徳/制作協力：社会福祉法人「びぐれっと」 グループホーム「みなみ風」 日本てんかん協会 プラネタフィルム 一陽社 クロスフィット ミライエ ヒボコミュニケーションズ /特別協力：伊勢真一之助 木島浜子/企画・製作・配給：いせフィルム/かんとく・伊勢真一

【問合せ】いせフィルム Tel.090-3503-5686 ise-film@rio.odn.ne.jp <https://www.isefilm.com>

☆バリアフリー上映とは？

音声ガイドや字幕を使い、目のみえない人も耳の聞こえない人も、そうでない人も一緒に映画を楽しむことのできる上映会です。1回目の上映がバリアフリー対応となります。

※音声(イヤホン)ガイドをご希望の方は事前にやまぼうしままでご連絡ください



☆アフタートーク

各回終了後にアフタートークを行います。登壇予定者は、伊勢真一監督、西村信子さん(奈緒ちゃんのお母さん)、太田政男さん(大東文化大学名誉教授・映画が「大好き」)です。お三方によるトークが観たばかりのホカホカの『大好き』をきっと深めてくれることでしょう。1回目のアフタートークには手話通訳が付きまます。



参加券の普及(販売)にご協力いただける方大募集!

映画会の取組みを通じて、地域で、あるいはその外で人とのつながりを広げることが出来たら良いな、と考えています。伊勢監督は作品を仕上げるのは観てくださる人たちだと言っています。

より多くの人の方を集めながら、たくさんの出会いをつくって、4月18日をいっぱいの人で埋まった客席で迎えたい。参加券の普及にご協力いただける方は、やまぼうしままでご連絡ください!